

赤十字 NOW

千葉 | 2019 秋号 Vol.48

▶ 発行所/日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

令和元年台風第15号 千葉県内に甚大な被害 安房・君津地域に医療救護班を派遣



CONTENTS 2019 vol.48

2 3 特集

世界中の災害や紛争から
人々のいのちを守る
赤十字の国際活動

4 緊急レポート

・「令和元年台風第15号」
大規模停電など県下に甚大な被害
千葉県支部の被災地における救援活動

5 News&Report

・九都県市合同防災訓練に参加

6 News&Report / Information

・祝 受賞!
「赤十字防災ボランティア推進協議会」が
防災功労者防災担当大臣表彰を受賞
・平成30年度 日本赤十字社千葉県支部
一般会計歳入歳出決算のご報告



バングラデシュ南部避難民キャンプで手洗い方法を普及

赤十字の国

世界各地では、絶え間なく自然災害や紛争が発生し、日々、人々の赤十字は、これらの被災者や犠牲者に対し、世界191の国や地域そして開発協力支援まで、切れ目のない継続的な支援活動を行っている。

赤十字の国際活動

赤十字の国際活動は、各国赤十字・赤新月社と、その連合体である国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）、紛争犠牲者への支援を行う赤十字国際委員会（ICRC）が、相互に協力、調整し合いながら実施されています。

緊急救援

●災害時の緊急救援

大規模地震等の災害が発生し、被災国の赤十字社が連盟に支援を要請すると、連盟は「緊急救援アピール」を発表。各国赤十字社はこれに対し、連盟の調整の下で、資金や物資、要員派遣などの救援を行います。

日本赤十字社では、迅速に出動できるよう、保健医療活動を行う専門家チームと資機材からなる緊急対応ユニット（ERU）を備えています。



大規模災害発生時にはERUを緊急展開

●紛争時の緊急救援

武力紛争における緊急救援は、ICRCが主導して医療や食料等の救援を行うほか、ジュネーブ条約に基づき、紛争犠牲者の保護を行っています。また、捕虜や被拘束者が人道的な取り扱いを受けることを確保するため、捕虜等の訪問活動も行っています。



避難民の診療にあたる日赤医師（バングラデシュ南部避難民救援 2017年～）

復興支援

赤十字は、災害直後の緊急救援後も、被災者が安全で健康的な生活を取り戻すことができるようにするため、住宅や診療所等の再建、水と衛生設備の整備などの復興支援活動を続けています。



地震で全壊した住居の再建を支援（ネパール地震救援・復興支援 2015年～）

開発協力支援

●長期にわたる人道ニーズへの取り組み

赤十字では、緊急救援や復興支援だけでなく、「災害や疾病に強い地域社会の構築」に向けて、長期的な開発協力支援も行っています。

支援事業としては、地域住民による自主防災組織を育成する事業や、救急医療システムが発展途上である地域への救急法普及事業などがあり、現地赤十字社に寄り添い、財政・人材・物資・技術的アドバイスなどを側面から支援しています。

●千葉県支部からも資金援助や職員派遣

平成30年度は、千葉県支部から、地雷犠牲者支援事業など4事業についてカンボジアやミャンマー等6か国に対し、総額400万円の資金援助を行うとともに、救急法普及支援事業については、2か国に2名の職員を派遣しました。



AEDの使い方や心肺蘇生法などを指導（カンボジア救急法普及支援事業）

から人々のいのちを守る 国際活動

いのちや健康を脅かしています。
域に広がるネットワークを活かして、緊急救援から復興支援
います。

国際活動を担う人材の養成

赤十字では、国際活動を担う人材を確保するために、海外派遣要員の養成研修を行っており、現在、研修を修了した401名が登録され、平成30年度は延べ84名が海外に派遣されました。

県内からは、平成29年度に、成田赤十字病院の薬剤師井上陽平さんが、バングラデシュ南部避難民救援に派遣されました。



現地の巡回診療で調剤を行う成田赤十字病院の井上薬剤師

「NHK海外たすけあい」にご協力を

赤十字の国際活動は、海外で発生した大規模災害等にお寄せいただく「海外救援金」や、毎年12月にNHKと共同で実施する「NHK海外たすけあい」キャンペーン募金などを主な財源としています。

世界中の災害や紛争で苦しむ人々を救援するために、皆様のご協力をお願いします。



成田空港で開催されたクリスマスフェスティバルにおいて、海外たすけあい募金をキャンペーン

日本赤十字社が、世界各地で展開している国際活動に関するトピックスや活動実績、海外救援金等については、本ホームページで紹介されています。ぜひ、ご覧ください。

日本赤十字社 国際活動

検索



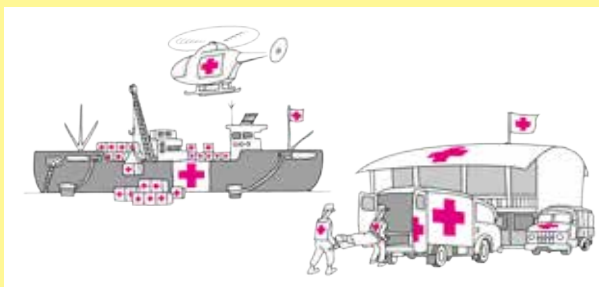
インドネシア・スラウェシ島地震における救援活動



赤十字マーク
について教えて!

●知っていますか? 赤十字マークの意味

赤十字マーク(赤十字標章)は、戦争や紛争時に、負傷者を救護する人や施設等を保護するために表示するもので、ジュネーブ条約において、このマークを掲げた救護員や病院等には、絶対に攻撃してはならないと定められています。

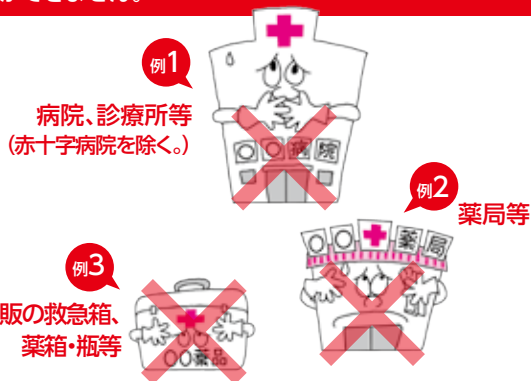


また、平時においても、人道的活動を行っている赤十字社の建物や車両、働く人等については、赤十字マークの表示が認められています。

●こんなところに「赤十字マーク」使用できるの?

「赤十字マーク」は病院や医療を象徴するマークとされている人もいますが、「赤十字マーク」を使用できるのは、赤十字社と自衛隊の衛生部隊など法律等で使用が認められている組織だけで、一般の病院や商品等に付けることは法律等により禁止されています。

次のようなケースは、「赤十字マーク」を使用することができません。



『令和元年台風第15号』

大規模停電など県下に甚大な被害

千葉県支部の被災地における救援活動

令和元年9月5日に発生した台風第15号は、9日に千葉市付近に上陸し、観測史上1位の最大風速等を観測するなど記録的な暴風となり、家屋の損壊や電柱の倒壊、倒木など県内全域に甚大な被害をもたらしました。

なかでも強風に伴う大規模停電は、県南部で復旧が大幅に遅れ、停電や断水が長引く中、住民の皆さんの健康被害が懸念されたため、日本赤十字社千葉県支部では、医療救護班の派遣や救援物資の配布、災害非常食の炊き出しなどの救援活動を行いました。

停電が長引く安房・君津地域で医療救護活動

千葉県支部では長引く停電をうけ災害対策本部を立ち上げ、第2ブロックの各支部に救護支援を要請。

9月13日から19日にかけて、医療救護班（延8班）、災害医療コーディネーターチーム（延7チーム）を、安房・君津地域に派遣。避難所（延80か所）や老人保健施設（延87か所）等を巡回して、住民の健康被害の聞き取り調査や、必要に応じて診療を行いました。

赤十字ボランティアの活動

君津市など10地区の地域奉仕団が災害非常食の炊き出しを、鋸南町や千葉市の地域奉仕団が救援物資の仕分け補助を行いました。

また、9月12日に、支部に「赤十字防災ボランティアセンター」を立ち上げ、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援のため、支部に登録している防災ボランティアを派遣。被災地でも、屋根のブルーシート張りの補助や救援物資の積み下ろし、災害ごみの搬出などの手伝いを行いました。

救援物資等の配布

各地区からのニーズに応じて、支部が備蓄している救援物資（日用品セット・毛布・タオルケット等）や炊飯袋（ハイゼックス）を被災者に配布しました。

また、大塚製薬（株）様からポカリスエット40ケース（960本）を無償提供いただき、ボランティアの熱中症対策として配布しました。

義援金の受付

9月18日から「令和元年台風第15号千葉県災害義援金」を受け付けています。お寄せいただいた義援金は、県に設置する義援金配分委員会から被災市町村を通じてすべて被災者にお届けします。

受付期間：9月18日（水）～12月30日（月）

受付口座：千葉県支部のHPをご覧ください。

これらの災害時における赤十字活動は、国や県などからの公的資金によらずに、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。



記録的な暴風によって折れて傾いた電柱



医療救護班の派遣前に現地の状況についてミーティング



避難所を巡回し、被災者の健康状態を聞き取り調査



君津市赤十字奉仕団が避難所で非常食の炊き出し



大塚製薬様提供のポカリスエットを防災ボランティアに配布



支部に防災ボランティアセンターを立ち上げ



千葉市赤十字奉仕団が救援物資を仕分け

九都県市合同防災訓練に参加

中央会場

首都直下型地震を想定し船橋市で実施

9月1日(日)の「防災の日」に、船橋市の高瀬町運動広場等を会場に九都県市合同防災訓練が行われました。

訓練では、千葉県北西部直下を震源とする震度6強の地震発生により、建物倒壊や液状化による道路損壊、ライフライン機能の麻痺などを想定した、実践的な訓練が行われました。



救護所で傷病者の手当を行う救護班

政府調査団として安倍総理が訓練を視察

今回は、千葉県が幹事県のため、政府調査団として安倍内閣総理大臣が訓練を視察しました。

訓練には約110機関から約5,000人が参加。日本赤十字社からも、千葉県支部、成田赤十字病院、血液センター、船橋市赤十字奉仕団、安全奉仕団、防災ボランティアなど総勢91人が参加しました。



訓練を視察し閉会式で講評を述べる安倍総理

応急救護やボランティアセンター運営訓練に参加

実動訓練では、救護班が応急救護等の医療活動を行ったほか、防災ボランティアが災害ボランティアセンターの運営に参加しました。

また、展示・啓発コーナーでは、船橋市赤十字奉仕団が非常炊き出し訓練に参加し、来場者にカレーライスを配付したほか、安全奉仕団による救急法体験コーナーを出展し、多くの親子連れが救急法を体験しました。



多くの人が救急法を体験



船橋市赤十字奉仕団による炊き出し訓練



ボランティアセンター運営訓練

千葉市会場

赤十字救護班やボランティアなど63人が参加

8月25日(日)、千葉市役所で行われた合同防災訓練に赤十字救護班、ボランティアなど63人が参加しました。

千葉市を震源とする震度6強の地震発生により、家屋倒壊やライフラインに大きな被害が発生したという想定で行われ、傷病者の応急処置や医療機関への搬送や非常炊き出しなどの訓練を行いました。



傷病者の応急処置を行う救護班



炊き出しの訓練に参加した千葉市赤十字奉仕団

祝 受賞!

「赤十字防災ボランティア推進協議会」が 防災功労者防災担当大臣表彰を受賞

このたび、千葉県赤十字防災ボランティア推進協議会が、防災思想普及の功績により、令和元年防災功労者防災担当大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、災害時の防災活動の実施や平時の防災思想の普及等
に貢献し、その功績が特に顕著な個人・団体に授与されるもので、
令和元年は全国で9個人、22団体が受賞し千葉県内からの受賞は同協
議会1団体です。

今回の受賞は、協議会の皆さんが、災害時における活動だけではなく、
日頃から県内各地で研修会等を開催し、防災・減災への取り組み等
防災思想の普及に努めてきたことが評価されたものです。

山本順三内閣府特命防災担当大臣(表彰当時)から贈られた表彰状
を手にした清水会長は、「防災ボランティアの活動を評価いただき大変
光栄です。今後とも日々研鑽を積み、災害に備えていきたい」と語っ
ていました。



表彰状を手にする清水会長



防災マップの作成(研修会)



土のうの作り方(研修会)

日本赤十字社千葉県支部 平成30年度 一般会計歳入歳出決算のご報告

日本赤十字社千葉県支部が行っている災害救護活動や救援物資の配布、防災・減災活動の普及、救急法等の普及、赤十字ボランティアの育成などの赤十字活動は、国や県からの公的資金によらずに、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

皆様からお寄せいただいた活動資金をもとに、当支部が平成30年度に行った活動をご報告します。

活動資金へのご協力、ありがとうございました。

平成30年度ご協力いただいた活動資金

607,656 千円

収入総額 **751,165 千円**

支出総額 **751,165 千円**

協力をいただいた資金 **607,656 千円**

雑収入等(補装具製作収入ほか) **143,509 千円**



①災害救護体制の充実・強化	147,586千円
②健康・安全のための知識と技術の普及	39,301千円
③国際活動に参加	8,874千円
④義肢製作所の運営	52,256千円
⑤地域における赤十字活動	66,673千円
⑥管理業務	84,668千円
⑦赤十字奉仕団による活動	33,805千円
⑧青少年赤十字活動	29,743千円
⑨赤十字精神と社旨の普及、広報活動	105,129千円
⑩全国的な赤十字事業、活動	79,978千円
⑪各事業共通管理費	69,390千円
⑫次年度へ繰越	33,757千円

活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金に支えられています。
赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 令和元年度第1四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

株式会社群鶴工務店(横芝光町)

株式会社イマムラ興業(八千代市)

行政書士法人内田総合事務所(千葉市美浜区)

エリア拡張工事職長会(大成建設株式会社)(浦安市)

株式会社京葉銀行(千葉市中央区)

ケージーサービス株式会社(松戸市)

株式会社現代建設(木更津市)

株式会社サンタクロース(市原市)

シーエスジャパン株式会社(市原市)

篠塚医院(市川市)

新生産業株式会社(千葉市中央区)

新日本建設株式会社(千葉市美浜区)

有限会社高木電気工事(柏市)

千葉トヨペット株式会社(千葉市美浜区)

株式会社鶴商メンテナンス工業(市原市)

株式会社ナレッジワーカー(市原市)

日幸建設株式会社(千葉市中央区)

一般社団法人日本自動車販売協会連合会 千葉県支部(千葉市美浜区)

松原建設株式会社(千葉市中央区)

株式会社マツバラ千葉(千葉市花見川区)

マツバラマリーン株式会社(千葉市中央区)

有限会社丸和建材社(富津市)

株式会社メディカルサポート(千葉市美浜区)

株式会社横打(習志野市)

米屋産業株式会社(成田市)

株式会社リンクス・ビルド(船橋市)